

令和7年度第3回門真市幼児教育振興検討委員会議事録

開催日時 令和8年2月19日(木) 午後3時～4時
開催場所 市役所本館 大会議室
出席者 吉岡眞知子 大西宏幸 邨橋雅広 植原宏仁 寺西乾二 才木由美子
逢坂輝世子 水野知加子
事務局 中野こども部次長 竹田保育幼稚園課長 萩原保育幼稚園課副参事
大倉門真市教育委員会事務局教育部次長
高山門真市教育委員会事務局教育部総括参事
太田門真市教育委員会事務局教育部学校教育課長
田中門真市教育委員会事務局教育部学校教育課課長補佐

事務局

定刻となりましたので、只今から、令和7年度第3回門真市幼児教育振興検討委員会を開催いたします。

皆様、本日は、ご多忙にも関わりませず、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、門真市こども部保育幼稚園課の竹田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本検討委員会でカリキュラムについてご審議いただくのは今回で最終となりますので、委員長より答申書を教育長に手交していただく運びとなっておりますのでよろしくお願いいたします。

また、本日は、委員8名中8名、全委員様の出席をいただいておりますので、門真市附属機関に関する条例の施行に関する門真市教育委員会規則第5条第2項の規定により、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

また、本日の傍聴者はおられませんので、併せてご報告いたします。

続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。はじめに、本日の「次第」、資料1「門真市幼保小の架け橋期カリキュラム(素案)」、資料2「校区一覧表」、資料3「答申書(案)」、参考資料1「門真市幼児教育振興検討委員会 委員名簿」、参考資料2「令和7年度第3回門真市幼児教育振興検討委員会配席表」、参考資料3「新旧対照表」となっております。

以上の資料につきまして、全ておそろいでしょうか。

なお、本日の委員会も、後日議事録を作成させていただくために録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これ以降の会議の進行につきましては、委員長に一任させていただきます。委員長、よろしくお願いいたします。

吉岡委員長

皆さんこんにちは。今、事務局から言っていたいただきましたけれど、今日で最終

ということで皆様方のいろんなご意見を、ほぼ集約できていて、今日まとめのときかと思われま

事務局の方はいろいろ私たちの意見を聞きながら、まとめるにあたってご苦労いただいたと、感じております。本当にありがとうございます。

今日、最終のものをみさせていただいて、微調整があるかもわかりませんが、皆さんしっかり見ていただいて、よろしく願いいたします。

それでは、次第に沿いまして、議題1「門真市幼保小の架け橋期カリキュラム(素案)」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、議題1「門真市幼保小の架け橋期カリキュラム(素案)」についてご説明いたします。

資料1「門真市幼保小の架け橋期カリキュラム(素案)」をお願いします。

本資料は第1回、第2回の検討委員会でいただきましたご意見をふまえ、一部追記、修正を加えておりますので、修正部分を中心にご説明いたします。参考資料3新旧対照表とあわせてご確認ください。

まず、1ページの5行目をご覧ください。保育・教育の現場のところを文言の統一のため、教育・保育の現場に修正しております。

同ページの中段をご覧ください。就学前と就学後の教育・保育を文言の統一のため、就学前教育・保育と就学後の教育に修正しております。

2、3ページをご覧ください。第2回検討委員会において、国の動きや門真市の教育の方向性などを追記してほしいとの意見があったため、2. 門真市の教育以降すべて追記しております。

3ページ上段をご覧ください。3. 幼保小の架け橋プログラムとはの一つ目の○につきまして、架け橋期とはから架け橋期について、事務局にて修正し、一つの目の点のところにつきまして、国の資料に合わせて、事務局にて修正しております。

同ページ下段をご覧ください。二つ目の○の一つ目の点のところにつきまして、第2回検討委員会において、子どもの幸せについては重要な視点であるという意見があったため追記しております。

4ページ上段をご覧ください。一つ目の点のところにつきまして、第2回検討委員会において、基本版に「子どもの意見を尊重する」文言を追記してほしいとの意見があったため、前文にも関連するような文言を追記しております。

5ページ上段をご覧ください。注釈のところにつきまして、3. 幼保小の架け橋プログラムとはについて、国の資料から全ての箇所を抜粋していないため、抜粋から「参考に作成」に修正。また、1点、「参考作成先」を追加しております。

10ページをご覧ください。これまでの意見等を踏まえ、皆様に活用していただきやすいよう事務局にて追記いたしました。また今後各校区でカリキュラムを作成していくうえで、活用しやすいと思い新しく章立てしております。

追記内容としては、4点ございます。

まず1点目として、門真市では「門真市教育振興基本計画」において、義務教育9年間の「縦のつながり」を軸とした小中一貫教育を推進していることから、本カリキュラムは小中一貫教育の前段階として就学前教育・保育から小学校教育への円滑な接続を図るためのものであることを明記しております。

2点目として、4.3つの資質・能力、5.幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿と小学校で育ってほしい姿を記載している理由について明記しております。

3点目として、今後、各校区においてカリキュラムを作成していくにあたり、中学校区で作成していくことが素案に記載されていなかったもので、記載しております。

最後に、次ページにお示しいたします門真市幼保小の架け橋期カリキュラム基本版については、来年度以降の各中学校区ごとにおいて対話、交流していただき加筆、修正を行っていただくベースとなるものである旨記載いたしております。

次に基本版についてです。

11ページをご覧ください。

2回の委員会でのご意見や9月にございました幼保小中合同研修会のご意見などをふまえ、事務局にて再度見直し、加筆修正等させていただきました。変更箇所は、3つの資質・能力の項目となります。

知識及び技能のところを表記を統一するため、知識・技能に修正しております。

次に、変更箇所は配慮事項の項目となります。

まず、年少児から年中児の欄3つ目の文言でございます。・子どもの感じ方や伝えたいことを丁寧を受けとめる。を追記いたしました。

次に5歳児の欄でございます。前半の4つ目の点、子どもの話やその背後にある思いを聞き取り、を聞き取ったりに修正いたしました。

後半の2つ目の点、・主体的にこどもが調べたり、考えたりできる環境を構成するを、探究的な学びにつながる配慮として追記いたしました。

3つ目の点・間違ったり、失敗してもいいと思える環境（雰囲気）を作るを追記いたしました。

次に4つ目の点です。子どもの思いや意見を尊重する（否定的な意見も受け止める）を追記いたしました。

次に第1学年の配慮事項の欄についてです。1つ目の点の文の最後、役割を与

えるを役割を考えるに修正しました

次に3つ目の点・様々な表現の言葉を学ぶことができるよう、表現遊びや言葉遊びの活動を取り入れるを二学期から一学期に移動いたしました。これは一学期からはじめていたとのことで移動いたしました。

次に4つ目の点・自分の考えを言葉にできるよう話し方の型を作る、を削除し、子どもの思いや意見を尊重する（主体性の向上を促す）に変更いたしました。

次に・相手の考えを尊重することができるよう聞く姿勢の例を示したり、聞いた後の反応を言葉にできるようにする、を三学期から二学期に移動し、文言を自分と異なる意見や考えを尊重する態度を認めていくに変更いたしました。

また、子どもの意見を尊重する配慮事項が年少児から年中児、5歳児、第1学年にそれぞれ追記されております。先ほども申し上げましたが、子どもの意見表明権についての意見を反映し特に大切にしていきたい配慮として、どの学年にも追記いたしました。

他、その他微細な修正につきましては新旧対照表をご確認ください。
以上でございます。

吉岡委員長

ただいま事務局から議題1「門真市幼保小の架け橋期カリキュラム」の説明がございました。

これについてご意見ございませんでしょうか。

邨橋副委員長

私としては、どうしても基本版ということで、ちょっと表現が大きくなっていますけれども、内容的に細かく見ていけばそういう話を取り入れていく余地は十分ある表現にはしていただいているので、後の取り扱いのところを読み込んで、みんなで相談しながらやっていくということを丁寧にやっていただけたらいいかなと思っています。

植原委員

第2回の意見を本当にいろいろと取り入れていただいて、事務局の方で作成いただいております。

私も参加させていただいて意見言わせてもらったものを反映していただいたのが、10ページの架け橋期カリキュラム作成にあたっての(2)のところ、最後の行ですね。

また、小学校側が育まれた力を教育活動にどう活かすのかを明確にするっていうところ、やっぱりここが架け橋期にとっても大事になってくるかなあ

というふうに思いますので、ここを書いていただいて、しかもここ（１）（２）（３）と、これから中学校区において作っていく上で、大事なことも、しっかり明記していただいているので、各中学校区で作る上で、とても参考になるのではないかなというふうに見て思いました。

吉岡委員長

ありがとうございます。

今、植原委員から言っていただきましたように、意見がでたのを事務局が苦労して、どのように表すかとかいうので、いろいろ修正していただいていた過程を私も相談を受けながら聞いておりまして、特に10ページの架け橋期カリキュラムの作成にあたってという、これから具体的に向かうところをきっちり明記していただけたというのが、状況としてよく見えてくるものになったと思いますし、よかったのではないかとのご意見もあったかと思えます。

他によろしいでしょうか

では、続いて、議題２「来年度のスケジュールについて」を議題とします。事務局、説明をお願いします。

事務局

議題２「来年度のスケジュールについて」ご説明いたします。資料２「校区一覧表」をご覧ください。

第２回検討委員会において、検討単位は中学校区ときまりましたので、中学校区ごとに小学校や園名を記載しております。まずは、基本は中学校区にて区切らせていただき検討をすすめていく方向でございます。園は基本は地理上の中学校区に参加、進学先が中学校区外のほうが多い園につきましては、そちらの校区にも参加してよいという形にしたいと考えております。

また、スケジュール案としましては、1学期中に幼保小中合同研修会を開催し、架け橋期カリキュラムの説明、及び、講演、そののち校区にわかれての第１回の検討会を考えております。第２回目以降は校区で日程等きめていただき、協議や交流を行いながらカリキュラムを作成。２月末ごろに校区ごとに提出していただき、令和９年度からカリキュラムを実践していくという流れを考えておりますが、負担に配慮しながら各園・校の実情に合った形で展開されるよう進めていければと考えております。

以上、誠に簡単ではございますが、議題２「来年度のスケジュールについて」の説明とさせていただきます。

吉岡委員長

ただいま事務局から議題2「来年度のスケジュールについて」説明がございました。

これについてご意見ございませんでしょうか。

邨橋副委員長

スケジュールそのものではないのですが、ある大学の先生と、架け橋プログラムの話をしたときに、言葉をちょっと注意したほうがいいよねというのをお話をしたんですね。それは何かというと、架け橋プログラムというよりも、今回、やってるこれは、そもそもカリキュラムをどう繋いでいくかっていう話なので、「架け橋期カリキュラム」という言葉をできるだけ使ったほうがいいよねということを教えていただいたんです。できたらこれから先も、架け橋期カリキュラムをどう作っていくかというような、具体的などころではそういうふうな言い方をしていただいた方がいいかなと思います。

もちろん架け橋プログラムというのは、国が言ってる言葉なので、当然それは使うことにはなるとは思うんですけども、具体的な作業の段階では、カリキュラムというのをちょっと強調するような言い方をしたほうがいいかなと思います。そうでないと、何をやるかっていうハウツー的なこと、「何々をさせる」という方向で、動いてしまわないかなという懸念があるよねということをおっしゃったのでとりあえず、報告させていただきます。

吉岡委員長

ありがとうございます。

意識として、こういうことだということを、具体的に作業する中でみんなが意識してもらえたらということだったと思いますので、またそれも、どのように周知するかということも含めて、来年度、やっていただけたらということかと思いません。

他にはよろしいでしょうか。

私から。来年度この校区ごとに小学校、保育所のチームというか、グループがありますが、この会に来られてる小学校の先生とか、園の方は周知できてるけれど、来られていない、園があるとか、学校があるとかした場合の意識の違いが出てくるように思うので、そのあたりは事務局側として来年度スタートするにあたって全門真市の中学校区の小学校、保育所やこども園ですか、民間もありますからね。

こういうことをこのようにしてやっていくんだっていう周知については漏れなくうまくしていただきながらスタートできるようにお願いします。

やはり全園が、全学校が意識を高めていかないとせっかく作って、具体に入っ

ていく段階での温度差が出てしまうと、もう全く知らなかったで一年終わってしまうということが無いようにと危惧するところですのでよろしくお願い致します。

事務局

校長会であったり民間の保育園協議会、幼稚園協議会を活用し、周知させていただきながら、進めていけたらと思いますので、よろしくお願い致します。

吉岡委員長

お願いいたします。

邨橋副委員長

幼児教育の現場の先生なんかは、頑張ってたよとか、目がキラキラしてたとかそういう抽象的な表現をされることが多いので、気持ちはわかるのですが、私の個人的な意見としては、その子が何に注目してたかとか、どういう発言をしたかに着目した上でそれが、どういう思考回路の中で出てきた言葉なのかというのを、ある程度分析的に見たほうがいいかなと思うんですよね。

多分、小学校さんは多分それをある程度されてると思うんですけれども。乳幼児関係はそれが少ない。

だから、子供たちが言ったその思考の先のものを充実するために、環境設定というのを、どうするかというふうに考えていくことは、これから先すごく大事なことだろうなと思います。できたらそういうふうな子供たちの発言とかあるいは行動が何を考えているのか、例えば分類なのか、これは小学校に当然繋がっていきますよね。

でも分類だとすると、「そうやねこのどんぐり形が違うよね」というふうに先生がそこを取り上げることで、ものを見分ける・分類することが強調されていくと思うんです。そういうふうな場面の取り上げ方というのも、できたら研修の中で取り上げていって、それが小学校の分類のところに繋がるんだよというふうに繋げていくようなことがカリキュラムベースで繋いでいくという意味があるんだというのを、今回はそういう部分を研修では強調していくことが必要かなと思います。

吉岡委員長

ありがとうございます。

具体的な校区ごとの研修に入っていくときに、今の具体的なこととかも話題が交流し合えたらということだと思います。

またスケジュールの中には、1学期でしたね。

幼保小中合同研修会をまず実施するというところだから、そういうところで、今言われたような具体的な研修をどのように進めていくかというようなことも触れられると思いますし、ここでの周知がはかかっていけて、それぞれに分かれるというスケジュールになっているかと思いますので、1回目の合同研修のときも有意義に進むように計画をお願いいたします。
よろしいでしょうか。

植原委員

今委員長おっしゃった、来年度一学期の合同研修会や一年とかのスケジュールってというのは、もう何か見えているところがありますか。

決まっているところ、来年度へ向けての動きで。これからなら、これからでいいので、もし決まっているところがあったら、教えていただけるとありがたいです。

吉岡委員長

いつ頃どうか、イメージありますかという、質問ですね。

植原委員

まだこれからなのか。

事務局

一応、イメージ的には、年度内に完成させていただきたいというところがございいますので、やはり一学期中に、1回、幼保小中合同研修会を開催し、時期については相談させていただきながら進めていければと思っております。

その後は各校区ごとで調整になってきますので、そこはまた随時の時期にはなってくるのかなと思っております。今のところは2月末をめどに、カリキュラムの作成を完成というところを目指していただきたいというところをスケジュールとしてイメージしております。

吉岡委員長

ありがとうございます。

年度初めは忙しいとは思いますが、今言われた2月にというふうにあたってきたら、一学期といっても幅が広いので、前半で早くスタートができた方がという願いでおっしゃったんじゃないかと思えますし、今からでも、スケジュールの計画を早めに作ってあげて、現場におろす方が、参加も含めてやりやすいということになっていくし、現場のスケジュールもそれも見ながら合わせてくださ

るかもわからないので、スタートは早めに、どこでするかを考えてあげてください
いって、意見かな願いかな。お願いします。

他によろしいでしょうか。

では、続いて、議題3「答申書（案）」について議題とします。

事務局、説明をお願いします。

事務局

それでは議題3「答申書（案）」につきましてご説明いたします。資料3「答申書（案）」をご覧ください。

この「答申書（案）」は、令和7年8月4日に開催いたしました第1回検討委員会において、教育長よりカリキュラム策定に係る諮問をさせていただいてから、これまで本日を含め3回にわたる検討委員会にて委員の皆さまにご議論いただき作成したカリキュラム（案）を教育長に答申するものとなっております。記載の内容についてご確認いただき、問題がなければ答申書として決定し、カリキュラム（案）を添えて、こののち教育長に答申していただきたいと考えております。

また、本日は、教育長が他の公務のため、峯松教育監に代理で対応していただきますので、よろしく申し上げます。

それでは答申書（案）について朗読させていただきます。

答申書 令和8年2月19日 門真市教育委員会 教育長 八木下理香子 様
門真市幼児教育振興検討委員会 委員長 吉岡眞知子 門真市幼保小の架け橋期カリキュラムについて（答申）令和7年8月4日付け門こ保第728号にて諮問されました「門真市幼保小の架け橋期カリキュラム」の策定について、当委員会を計3回開催し慎重に審議を重ね取りまとめた本カリキュラム案を適当と判断し、別添のとおり答申いたします。

以上でございます。

議題（3）の説明は以上でございます。

吉岡委員長

ただいま事務局から議題3「答申書（案）」についての説明がございました。ただいまの説明について、ご意見等ございませんでしょうか。

（質疑応答無し）

それでは、答申書として決定させていただきます。

この後、私が本検討委員会を代表して教育長に対し、答申させていただこうと思っておりますが、何かご意見やご質問はございませんでしょうか。

(意見なし)

ないようでしたら、答申に移らせていただきます。

それでは事務局よろしく願いいたします。

事務局

それではこれから準備に移らせていただきますので、しばらくお待ちください。

(教育長（峯松教育監）入室)

事務局

それでは、準備が整いましたので、答申に移らせていただきます。吉岡委員長、よろしく願いいたします。

吉岡委員長

答申書 令和8年2月19日 門真市教育委員会 教育長 八木下理香子 様
門真市幼児教育振興検討委員会 委員長 吉岡眞知子 門真市幼保小の架け橋期カリキュラムについて（答申）令和7年8月4日付け門こ保第728号にて諮問されました「門真市幼保小の架け橋期カリキュラム」の策定について、当委員会を計3回開催し慎重に審議を重ね取りまとめた本カリキュラム案を適当と判断し、別添のとおり答申いたします。

(答申書及びカリキュラム（案）を手渡し)

事務局

ここで、峯松教育監から委員の皆さまにお礼の挨拶がございます。それではよろしく願いいたします。

峯松教育監

門真市教育委員会事務局教育監の峯松でございます。

本来であれば八木下教育長から直接ご挨拶申し上げるべきところではござい

ますが、本日は出席が叶わず、どうかご容赦ください。
八木下教育長からの挨拶につきまして私より代読させていただきます。

門真市幼児教育振興検討委員会の皆様におかれましては、ご多忙の中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

門真市幼保小の架け橋期カリキュラムの策定にあたりましては、昨年8月の諮問から本日まで丁寧に議論を進めていただきましたことに感謝申し上げます。

検討委員会においていただいた貴重なご意見を反映し、策定したカリキュラムの基本版を基に各校区でカリキュラムを作成し、市内すべての子どもたちが、安心して育ち、学ぶことのできる環境を地域全体で整えていけるよう、今後も努めてまいりますので、引き続き変わらぬお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。誠に簡単ではありますが、私からの御礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。

なお、峯松教育監につきましては、誠に恐縮ではございますが、他の公務のため、ここで退席させていただきます。

吉岡委員長

これで本日の議題はすべて終了しました。

これをもちまして、第3回門真市幼児教育振興検討委員会を終了いたしますが、令和7年8月4日に諮問を受けてから本日まで3回にわたり審議してまいりましたが、いかがでしたでしょうか。

最後にご意見あるかたはおられますか？

この1年で、驚きと感激は、自主的に研修会というか勉強会をしようやないか言うてされたあたりが、もう門真市でしかないかなという勢いです。これがこのスタートに繋がっていくんじゃないかなというようなことをとても感じながら感激しておりました。

委員の先生方が集まっていたいて、スタートする意気込みがあらわれ、こういういいものになっていったのかなと思います。

研究の中で思ってきたのは、子供の育ちの流れを、教育者は自分の担当の年齢月齢しか見れない傾向にあるけれど、ずっと大きくなっていく子供たちの、状況をしっかりと把握するということが一番大事で、子供はひよっとしたら、幼稚園

の先生がこう言ってたけど小学校行ったら違うやんとか、保育園の先生がこう言ったけど小学校の先生のとやってること同じことをしようとしても言うこととか方向が違う、とかいう戸惑いを、今までずっと持っていたはずだと思っています。だけど子供はとてもしなげでその場に合わしていく力を持ってますから、そこでは合ってるけど、実は就学前で言われてたことと、小学校行ってから急がされて、やってることとか違うなあととかいうような戸惑いがあったと思うんですけど、こういう話し合いをしながら、子供たちの健やかな育ちを、大人たちがしっかりと見ていくという原点になる会が、今後の中学校区の会でも期待するところです。

この勉強会をされたのは、今後、校区ごとでも積極的にそういう会になっていくと思いますので、ぜひ継続して、就学前から小学校中学校への子どもたちの育ちを保障する、考えていける門真市になっていただけたら、素晴らしい門真の教育が見えてくると思います。

門真の教育が見えて、ここで働きたいという先生も出てきて、またここに住みたいという子供たち、親御さんたちが移ってこられるというような門真市になっていく未来が見えるような気がしております。

引き続き、来年度、より具体化させていくために、継続して頑張っていただけたらと思います。

私も今回参加させていただき、現場の話を聞かしていただき、私自身が大変勉強になりました。ありがとうございました。

これで終了させていただきます。

それでは事務局お願いします

事務局

委員のみなさまお忙しい中、また、3回と限られた中での開催となりましたが、委員の皆様からの貴重なご意見をいただきありがとうございました。おかげをもちまして、カリキュラムの基本版を完成することができました。

この基本版を基に来年度から各校区での作成に取り組んでまいりますので、今後も引き続きご支援等賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、「門真市幼保小の架け橋期カリキュラム(案)」につきましては、字句の調整等の簡易なものにつきましては事務局一任とさせていただきたいと存じますので、併せてお願いいたします。

ありがとうございました。